

# 校名：山梨大学教育学部附属特別支援学校

所在地：〒400-0006 甲府市天神町17-35 電話番号：055-220-8282

記載日：平成28年5月10日 記載者：守木 智 記載者役職：高等部主事

## 貴校の校風、おおまかな特色について

本校は山梨大学の甲府キャンパスに隣接する知的障害の特別支援学校です。甲府駅から武田神社に向かって伸びる武田通りを、徒歩20分ほど北上したところに立地しており、閑静な住宅地に囲まれた落ち着いた環境にある学校です。徒歩5分以内に附属幼稚園、附属小学校、附属中学校があり、大学と附属学校園との連携を推進するのにふさわしい環境が整っています。

## 本校の性格と任務

- ① 本校は、学校教育法及び教育基本法 72 条に基づき知的障害児を対象に教育を行う。
- ② 本校は山梨大学教育学部の附属学校として、教育の現場に即し、理論と実際についての研究・実証を行う。
- ③ 本校は教育人間科学部の教育計画に従い、学生の教育実地研究、並びに観察・実習の実施と指導を行う。
- ④ 本校は、教育実践及び研究を通して、地域の特別支援教育・現職教育の推進に協力する。

## 学校教育目標

自ら考え、行動し、まわりの人と助け合いながら生き生きと生活できるたくましい心と体を養う。

- 心身を鍛え、健康を維持し、つよい心と体を持つ。
- 身のまわりのことが自分でできる。
- 人とのかかわりが持て、集団に参加し、仲間と協力できる。
- 自ら考え、持てる力を精いっぱい出して行動できる。
- 幅広い視野を持ち、心豊かで文化的な生活を営む。



## 貴校の卒業生の活躍状況について

- ① 社会福祉サービス利用における福祉就労、一般就労、進学が主な進路である。
- ② 就労先の施設においては、パンの製造・販売、農作物の栽培・販売、箱制作や袋詰め等の軽作業など、それぞれの特性を生かして社会参加している。
- ③ 卒業生とその保護者、在校生の保護者と教職員で若梧会を組織し、卒業後の生活がより豊かになるような支援活動を行っている。毎年恒例行事である納涼会、成人祝賀パーティーには多くの卒業生とその保護者が参加し、近況報告をする場となっている。

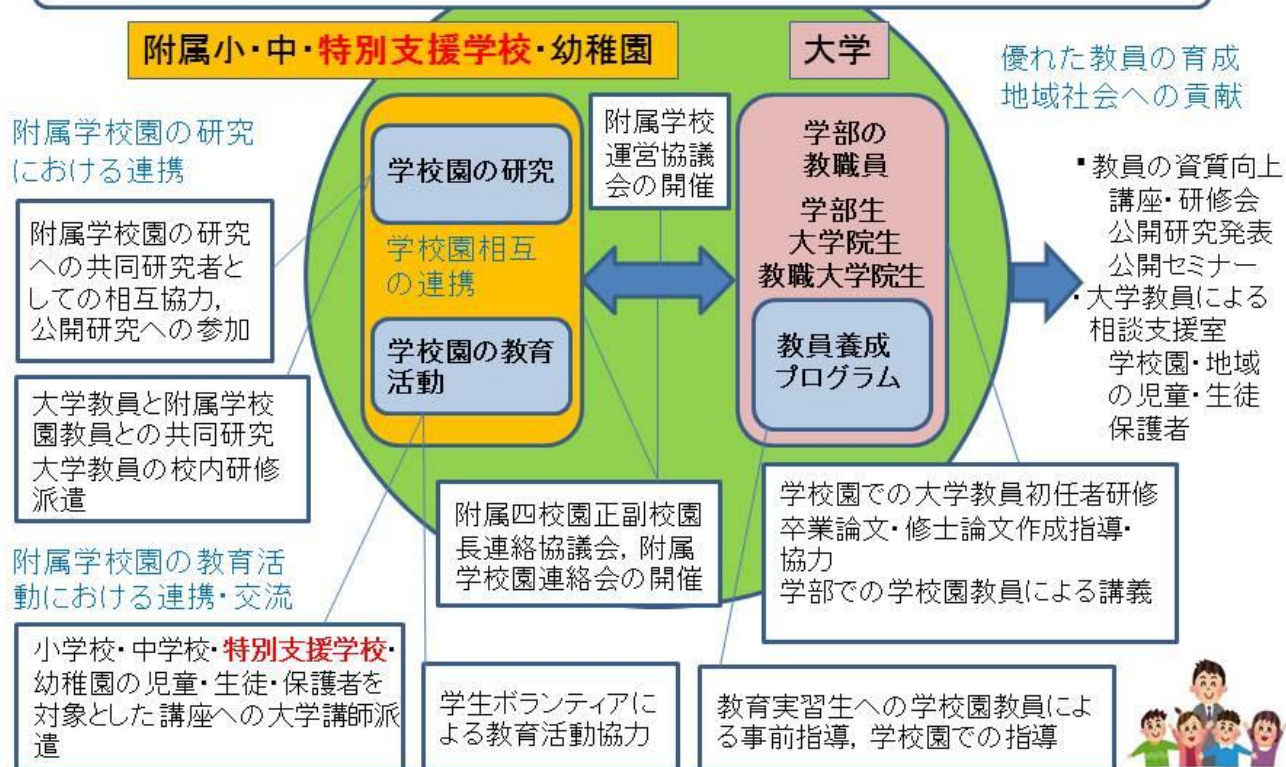
## 貴校勤務経験者の先生方が公立学校・教育委員会などへ戻られた後の活躍状況について

- ① 追跡調査をしていない。
- ② 県内各地域の公立小中学校においては特別支援コーディネーターや特別支援学級担任として、県立支援学校においては指導的な役職に就いている。また、山梨県教育委員会「新しい学校づくり推進室」や山梨県教育センターにおける指導的な役職に数多くの本校出身者が身を置き、県内特別支援教育の推進役として活躍している。

魅力のある、特色のある、または、今後、公立学校へも展開できそうな先導的な取り組みなどについて

### 山梨大学教育人間科学部附属学校園と大学との連携した特色のある取組

研究や教育活動における学校園相互の連携や大学と学校園との連携協力によって、学校園の教育活動の充実を図るとともに、優れた教員の育成、地域社会への貢献に資する。



#### ○附属学校園の連携

教育現場が抱える諸課題にこたえていく視点から、大学・学部と附属学校園との関係強化を通して、「地域の指導的モデル校としての機能を充実」させるとともに、「現代的課題に対する地域のモデル校としての取り組みを公開する」ことを目標に実践研究活動に取り組んでいる。特に、附属学校園の教育・研究活動に対する大学と附属学校との連携・協力関係の点で前進が見られた。両者の関係を強化するため、附属学校運営協議会ならびに附属学校園企画運営委員会等で調整を図り、教育・研究の両面で連携・協力の強化を図っている。

#### ○教育課題に対する取り組み

本校では、指導方針として次の四つを掲げる。第一に、一人ひとりの児童生徒の人間性を尊重し、その可能性を信じ、個性・能力を理解し、個の特性に応じた適切な教育を行う。第二に、小学部・中学部・高等部の一貫した教育を、科学的、系統的・発展的に行い、自己実現力を育てる。第三に、集団生活、就業体験への積極的な参加を通して、働くための知識・技能、意欲・態度を養う。第四に、家庭や医療、その他関係機関との連携を図りながら、指導を進める。第四に、交流教育や地域との交流を積極的に推進する。この指導方針を軸に、学校研究を中心にした各教育活動を行っている。本校の公開研究会には、過去6年間で延べ1477名参加（平均参加人数246名）であった。

## ○附属学校園相互の連携を強化する取り組み

附属学校園相互の連携・協力を強化するため、以下の内容で取り組みを実施してきた。

①附属学校園正副校園長連絡協議会、学校園連絡会の年4回の開催

②附属学校園公開研究会への相互協力

③附属学校園の交流活動と学校園の連携

附属小学校4年生と附属特別支援学校小学部との交流活動（年間3回）

・集団ゲームを通じた交流活動

附属中学校と附属特別支援学校中学部との交流活動（2回）

・学園祭の劇背景画の共同製作、学園祭当日の観劇招待

## ○附属学校園と大学との研究面での連携

①大学教員が校内研究に共同研究者として参加。

公開研究会に向けて、事前・事後研究を共同して展開した。

②大学教員と附属学校園教員との共同研究

附属教育実践総合センター研究紀要に共同研究の成果を公表した。

## ○附属特別支援学校高等部卒業生の就職先としての大学との連携

山梨大学教育学部支援課への非常勤職員としての就職（毎年1名・2年間）

（H23年から6年間継続採用で過去就職者 6名）

<効果>

毎年、山梨大学教育学部支援課に本校高等部卒業生1名が非常勤職員として2年間就労することができるサイクルを継続している。教育学部支援課に業務内容を指導していただきながら、卒業生を担当する地域行政関係者と本校予後指導による支援のもとで2年間就労し、その後の進路については先述の関係者と家庭とで相談しながら開拓していく。一般的に障害者雇用の求人を探すことは容易ではないので、本校の近くで同大学組織の指導・支援のもとで就労できる機会が与えられていることは、本校にとって非常に心強く、本校進路指導における大きな特徴の一つとなっている。

## ○質の高い教員を養成するための連携・協力

大学の教員養成プログラムにおける連携

①教育実習生に対する附属学校園教員による事前指導

大学における事前指導、各校園ごとの事前指導、学年や教科ごとの事前指導と徐々に指導内容について具体性を増すことにより、学生が事前の準備がしやすいよう工夫した指導を行っている。

②附属特別支援学校での教育実習指導

実習録の検討を行い、実習生にとって学びやすく、教員志望への意欲がより高まるような工夫をしてきた。





### ③介護等体験実習での指導

一人の学生につき2日間、本校の9つある各学級に2名から3名の教育学部の学生が割り当てられ、年間8回（年間のべ16日間）に分けて受け入れ、「介護等体験実習」を行っている。教職の道を目指す学生達が、特別支援学校に通う児童生徒の様子や教員の教育活動を実体験できる貴重な機会となっている。年間145名ほどの学生を受け入れている。



○地域の教員の資質向上を図るための講座・研修会の実施  
県内小・中・特別支援学校の教員を対象として、毎年公開サマーセミナーを実施している。また、学部ごとの授業研究会も広く公開し、地域の多くの先生方が参加している。

### 地域において、現在、貴校はどのような存在であると考えますか

本校は、教育現場が抱える諸課題に応じていく視点から、大学・学部と附属学校園との関係強化を通して、「地域の指導的モデル校としての機能を充実」させるとともに、「現代的課題に対する地域のモデル校としての取り組みを公開する」ことを目標に実践研究活動に取り組んでいる。

### 附属学校の存在意義、貴校の存在意義について

本校は、教員養成の学部の附属学校としての地域への貢献の在り方を探り、ニーズに応じていくことが必要とされている。質の高い教員を養成するための連携・協力については、大学における事前指導、各校園ごとの事前指導、学部や教育課程ごとの事前指導と徐々に指導内容について具体性を増すことにより、学生が事前の準備がしやすいよう工夫した指導を行ってきている。

教育実習指導では、実習録の改訂について検討を重ね、実習生にとって学びやすく、教員志望への意欲がより高まるような工夫をしており、障害児教育講座及び特別専攻科の学生をはじめ、特別支援の副免許取得をめざす学生にとって、実践的な教育を学ぶ機会となっている。

また、学部生や大学院生が教育ボランティアとして行事や公開研究会の運営に関わることによって、教師の組織的な教育活動について体験的に学ぶ場となっている。教育実習が授業づくりや学級経営に重点を置いて指導が行われるのに対して、現場の教師と共に様々な教育活動を行うことによって、教師間の連携や協働性について体験を通して理解し、教師を目指す意欲の向上につながっている。



附属特別支援学校には、公立小中学校からの教師、県立支援学校からの教師、大学採用の教職員と、立場が異なる職員が共に教育活動を行っている。それぞれの教職員が経験を生かし、情報を交換したり、持ち味を生かしたりしながら、工夫を重ねた教育活動を展開している。本校から転出した後は、各組織における特別支援教育のリーダー的存在として、県教育委員会の指導主事や公立小中学校の特別支援教育推進役として活躍しており、本校の存在意義は大きい。